

プレスリリース

2015年5月20日
関西ペイント株式会社
国際家族計画連盟 (IPPF)

関西ペイントと IPPF 新たなパートナーシップを発表

国際家族計画連盟 (IPPF、本部ロンドン) *は、5月12日～17日にタイのバンコクで開催された IPPF 世界大会で「Anti-MosQ」という蚊よけ効果のある塗料を製造している関西ペイントと新たなパートナーシップについて合意したと発表した。

関西ペイントは、世界大会の中でマレーシアの IPPF 加盟団体である FRHAM に協力して、マレーシアにある診療所内部に蚊よけ効果のある塗料「Anti-MosQ」を塗装し、クリニックの利用者やスタッフが蚊に刺されない環境を提供したと報告した。また、関西ペイントと IPPF は、アフリカのモザンビーク地域の加盟団体である AMODEFA の診療所に対しても同様の協力を行うことを発表した。

IPPF : テオドロス メレッセ事務局長、

「IPPF は、関西ペイントによるアジアとアフリカにおけるご支援に大変感謝しています。蚊を媒体とする疾病は妊産婦を含む多くの人々の命を奪っています。関西ペイントは蚊よけ効果のある塗料によって IPPF 加盟協会の診療所内の環境改善を助けてくれました。IPPF は、このパートナーシップが互いに Win-Win で発展していくことを望んでいます。」

関西ペイントヨーロッパ : 赤木 雄社長

「関西ペイントは、IPPF の世界大会に参加できたことに大変感謝しています。私たちは、当社の塗料によって蚊による疾病を防ぎ人々の暮らしが守られるよう最大限の努力をしていきます。IPPF の活動と当社の CSR 活動を良く鑑み、引き続き IPPF との取り組みに繋がるよう努力していきます。」

問い合わせ

国際家族計画連盟 (IPPF) : 本部広報シニアアドバイザー ベン・デービス
携帯電話 : +44 (0)79-7127-0796

関西ペイント : 製商品企画室 松田 斎
電話 : 06-6203-6530

以上

国際家族計画連盟 (IPPF)

国際家族計画連盟 (IPPF) は、1952年にインドで設立された世界172か国で活動する世界最大級のNGO。創設メンバーには、日本初の女性国会議員で日本の家族計画運動のリーダーであった加藤シヅエを含み、日本とは設立以来、特別な協力関係を有する。特に貧しく社会的に最も脆弱な立場にある女性や男性、若者が、生死を左右する保健医療サービスにアクセスでき、尊厳をもって生きていけるよう支援している。IPPF事務局は、本部（英国）と6地域事務局（インド、ケニア、チュニジア、ニューヨーク、ベルギー、マレーシア）から成る。

全世界の加盟協会は、何百万人ものボランティアと3万人以上のスタッフに支えられ、その草の根に張り巡らしたサービス提供ネットワークを駆使し、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスに関する情報や教育、サービスを、世界65,000か所に及ぶサービス地点で提供している。サービスの内容には、家族計画、母子保健、HIVの予防、治療、ケアを含む。2014年には、世界で1億4千9百万件の保健医療サービスを提供した。

IPPF 事務局長 テウオドロス・メレッセ氏の紹介



2011年9月に就任した IPPF 創立以来初のアフリカ出身の事務局長。世界の全ての女性、男性、そして若者（特に貧しい人々）に SRH サービスを行き渡らせることを目指し、他のパートナー機関との協力の下、SRH に対する経済・政治的支援基盤の強化と IPPF 傘下の加盟協会によるより効果的な活動を可能とするために邁進している。前職は、IPPF アフリカ地域事務局長としてサブサハラアフリカ44か国の健康と開発に関する大規模案件の実施を率いたほか、その優れたリーダーシップと調整能力によりアフリカ大陸全土の女性や若者のリプロダクティブ・ヘルスを高める上で極めて重要な数々の地域内合意の原動力となった。

IPPF と関西ペイントのパートナーシップ

パートナーシップの詳細については、6月に来日予定の IPPF : セボニ会長と関西ペイント : 石野社長との会談によって正式決定する予定だが、互いに Win Win として長く継続の出来るパートナーシップをめざして協議していくことになる予定です。

関西ペイントは、蚊よけ効果のある塗料「Anti-MosQ」をマレーシアのマラッカにある医療施設に塗装しました。また、モザンビークの病院でも同様の取り組みを進めており塗料供給の準備を始めています。



マレーシアのマラッカにある医療施設



地域責任者 Mrs.Mehalah Lingam



「Anti-MosQ」を塗装中



塗装後の医療施設

マレーシアでは、昨年デング熱が大流行し国を挙げて蚊よけについて対策を実施中です。アフリカでは、慢性的にマラリアが流行しています。いずれも、蚊が媒介する病気であり、蚊よけ効果のある塗料「Anti-MosQ」には大きな期待が寄せられています。今後、双方の医療施設より蚊よけの効果が報告されることとなります。

以上